

地域とともに 暮らしのそばで、みなさんと。

地域の皆さんの声に耳を傾け、
ともに考え、ともに行動する。
これからも、暮らしやすく、
安心して住み続けられるまちを
めざして、地域の中で活動を続けます。

スポーツ振興

スポーツで地域を元気に



スポーツ少年団やティーボールの指導員として、子どもたちと一緒に汗を流しながら、スポーツの楽しさや仲間を思いやる心を育んでいます。
また、草津市ソフトボール協会副会長として大会運営や次世代育成にも携わり、2025年の滋賀国スポでは大会運営を担当。現場に立ちながら、スポーツ振興と地域のにぎわいづくりに取り組んでいます。

まちづくり

人と人が支え合う地域をつくる



草津市消防団第七分団の一員として、訓練や資機材点検、地域の見守り活動に参加し、災害時に地域を守るよう仲間とともに備えています。現場で感じた課題をもとに、消防団の人員確保についても議会で提案してきました。
また、保護司として立ち直りを支える活動に携わるほか、大路まちづくり協議会の監事として地域行事やまちづくりにも参加。人と人とのつながりを大切に、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

地域での意見交換

地域の声をこれからのまちづくりに



市内各地で座談会や意見交換を行い、まちづくりや交通、子育て、防災など、暮らしに身近な地域の声を伺っています。
実際に現場へ足を運ぶことで、地域ごとの課題や困りごとを把握しています。
いただいた声は、議会での質問や行政への提案、担当部署との協議につなげ、課題を一つでも前に進められるよう取り組んでいます。

困りごとと解決

暮らしの困りごとを身近に相談



自治会だけでなく、企業や職場にも出向き、「なんでも相談会」を開催しています。
暮らしの困りごとや職場の課題など、どんなことでも気軽に相談いただき、一緒に考え、解決に向けて取り組んでいます。
小さな声も見逃さず、一人ひとりに寄り添う活動を続けています。

地域で聞いた声を、暮らしやすい草津の未来へ。

地域の声
現場の課題

現場確認
調査・把握

議会・行政
提案・要望

改善へ
よりよい草津へ

これからも、
このまちで。

草津市議会議員

土肥こうすけ

Newsletter 2026年(第40号)

土肥こうすけ後援会報紙

発行 土肥こうすけ後援会 発行責任者：出原逸三 編集責任者：村田寛明
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL：077-564-1153

草津の声を滋賀県に

これまでの経験をもっと皆さんの暮らしに活かしたい

草津市議会議員として10年以上、地域の皆さんの声を聞き、暮らしの中にあるさまざまな課題と向き合ってきました。

活動を続ける中で、道路・交通、子育て・教育、福祉、防災、産業・雇用など、様々な分野において市では解決が難しく、県で取り組む課題にも数多く直面してきました。

こうした経験を通じ、市と県が連携して取り組むべき課題の重要性も実感してきました。

今まで培ってきた経験を生かし、これからも安心して働き、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

そして、「滋賀に住んでよかった」「これからも滋賀に住みたい」と思える地域をつくるため、これからも現場に足を運び、皆さんの声を聞きながら活動してまいります。

政策

土肥こうすけ 5つのミカタ

1. 子育てのミカタ

子育てと仕事を
両立できる環境をつくる

- 保育所・学童保育の受け皿を充実
- 待機児童・保留児童の解消を推進
- 小規模保育所卒園後の受け入れを拡充

2. 教育のミカタ

安心して子どもを学校に
送り出せる環境をつくる

- 不登校・いじめへのきめ細かな支援
- 教職員の負担軽減を進める
- 通学路の危険箇所を改善

3. 健康・福祉のミカタ

健康でいつまでも
元気に暮らせる地域を
目指す

- 高齢者の就労支援を強化
- 地域包括ケアを充実
- 生涯スポーツ・文化芸術を推進

4. 安全安心のミカタ

安心して暮らせる
安全な地域を目指す

- 路上犯罪・特殊詐欺の防止を強化
- 防災・減災対策を着実に推進
- 消防団など地域防災力を強化

5. 産業・交通のミカタ

滋賀の特長を活かした
元気で快適な環境を
目指す

- 公共交通網の整備・拡充
- 交通渋滞の解消を推進
- 企業支援と人材確保を後押し

議員活動11年間の歩み

～市民の声を議会へ。提案を具体的な町の変化へ～

初当選以来、皆さまの声を出発点に、「暮らしやすく、未来に誇れるまち・草津」をめざして、議会での提案を重ねてきました。
これからも、一人ひとりの声を大切に、情熱と行動力をもって取り組んでいきます。



子育てのミカタ

教育のミカタ

健康・福祉のミカタ

安全安心のミカタ

産業・交通のミカタ

待機児童対策・保育の受け皿拡大

2016年

年度途中の待機児童増加を取り上げ、企業主導型保育など多様な保育サービスの活用を提案。
保育施設の整備や定員拡大、保育人材の確保が進みました。



子育て応援ヘルパーを使いやすく

2017年

子育て応援ヘルパーの利用が想定より少ないことを指摘し、自己負担額や利用時間などの条件見直しを提言。子育て家庭が利用しやすい制度への改善を求めました。



子育て世帯への支援拡充

2023年

子育てと仕事を両立できる環境づくりを継続して提言。第3子以降の保育料・紙おむつ無償化や18歳までの医療費助成など、子育て支援が拡充されました。



通学路の安全対策

2016年

事故発生後ではなく「ヒヤリ・ハット」の段階から危険箇所を把握し、予防的な対策を提案。
グリーンベルト整備など、通学路の安全対策が進みました。



子どもの学力向上

2018年

学力調査の結果を踏まえ「草津市学びの教室」の会場拡大や学習内容の充実を提案。
定期テスト対策など、子どもの学びを支える取り組みが進みました。



スポーツ少年団指導者を支援

2025年

指導者不足の解消と指導力向上のため、公認指導者資格の取得・更新支援を提案。
2025年度から費用の2分の1を補助する新制度がスタートしました。



コロナ禍の避難所対策

2020年

感染症流行時の避難所の「密」を指摘し、避難スペース拡大やホテル等を活用した分散避難を提案。
感染症を踏まえた避難所対策の見直しが進みました。



生涯現役の地域づくり

2023年

高齢者が元気に活躍できるよう、就労や地域活動への参加、生きがいづくりを一体的に支える施策を提案。市も先進事例を調査し、検討を進めています。



文化芸術活動を健康づくりへ

2023年

文化芸術活動を健康寿命の延伸につなげるため、健康・文化部門の連携を提案。市も連携強化を表明し、地域への講師派遣による担い手育成も始まりました。



将来を見据えた火葬場整備

2017年

高齢化による火葬需要の増加と施設老朽化を早くから指摘し、新火葬場の整備を提言。
草津・栗東両市による共同整備に向けた具体的な検討が進みました。



消防団員の処遇改善

2021年

消防団員の減少を踏まえ、活動実態と責任に見合った報酬への改善を提言。その後、年額報酬の引き上げと、活動時間に応じた出勤報酬が導入されました。



総合体育館への空調設備整備

2026年

スポーツ時の熱中症対策と災害時の避難環境改善に向け、総合体育館への空調設備整備を提案。
今年度に整備が決まり、2027年夏の供用開始に向け工事が進みます。



駅周辺の駐輪環境を改善

2019年

草津駅周辺の駐輪スペース不足を取り上げ、収納台数の拡大や新たな駐輪場確保を提言。
駐輪場の増設や草津駅西口自転車駐車場の建て替えが進みました。



中小・小規模事業者への支援

2022年

コロナ禍や物価高騰で厳しい経営環境にある中小・小規模事業者への支援を提言。
事業継続支援金や「草津市応援チケット」などの支援策が実施されました。



奨学金代理返還制度の導入促進

2025年

若者の負担軽減と中小企業の人材確保に向け、奨学金代理返還制度の普及と企業への補助を提案。
2026年度、市内中小企業を対象とした補助金が創設されました。



その他の
取組み

- 働く世代の健康・睡眠対策
- 学校教員の働き方改革
- 豪雨・浸水対策の強化
- 地域コミュニティの強化
- スポーツで地域経済を活性化
- ごみ減量・環境対策
- デジタル化の推進
- 保育士・学童指導員の処遇改善

土肥こうすけの市議会での提案や質問内容は、右のQRコードから議会議事録でご覧いただけます。

